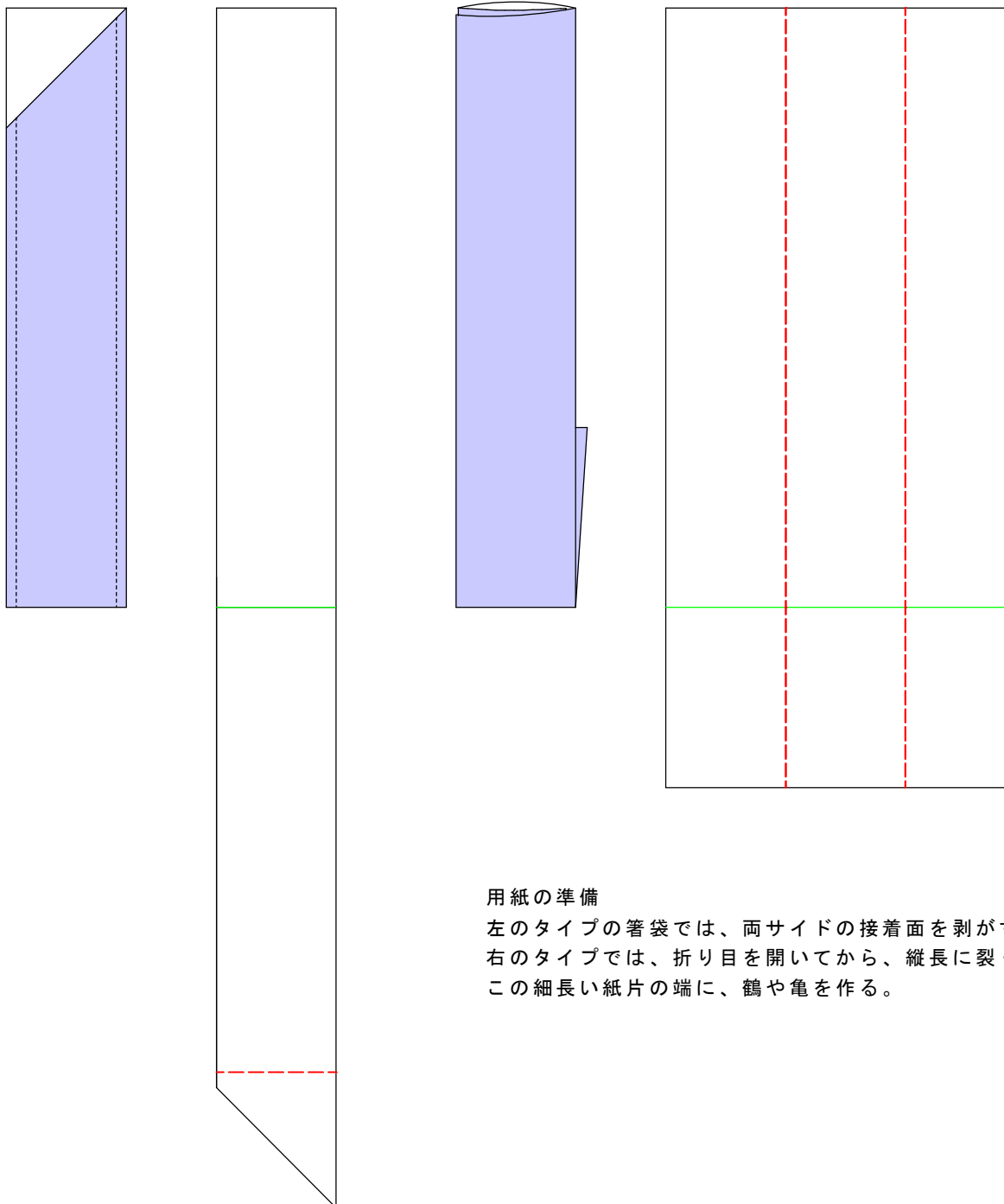


鶴と亀の箸置き

by KOMINAMI Hiroshi

初作時期 平成2（1990）年頃

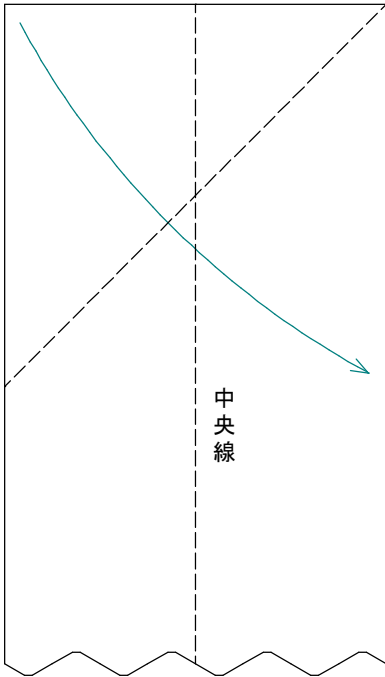
伝承折り紙の鶴と、「蛙の基本形」から作る亀とをあしらった箸置きです。最初に作ったのは平成2年頃だったと記憶しています。国際折紙飛行機コンテストで賞を頂いて以来、宴会などで「何か作って」と注文されることが増えたのですが、飛行機やヘリコプターを作るには適当な紙がなく、時間もなく、自分自身も斟酌しており…という状況のことが多いので、宴席には大抵ある割り箸の袋を用いて、比較的短時間で作れて、喜ばれる作品として考案しました。当初は「鶴の箸置き」でした。今でも、時間に余裕がないときは鶴だけにします。縁起物なので、評判は大変よろしいです。



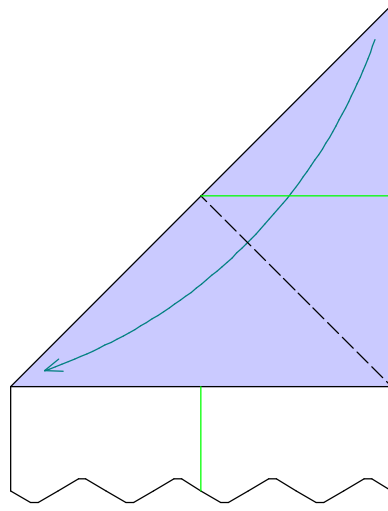
用紙の準備

左のタイプの箸袋では、両サイドの接着面を剥がす。
右のタイプでは、折り目を開いてから、縦長に裂く。
この細長い紙片の端に、鶴や亀を作る。

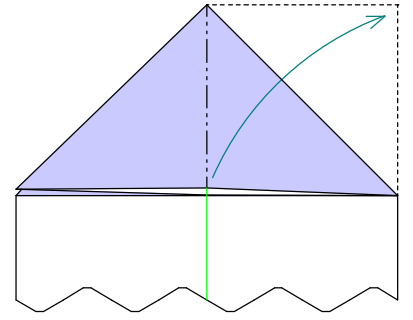
1. 鶴の箸置き



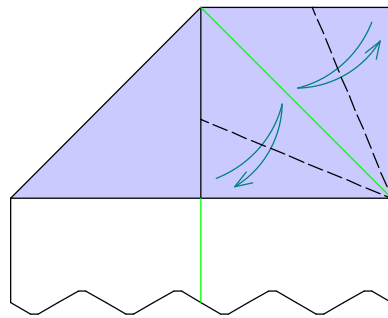
[1] 中央線の折り目をつける。
 その後は、普通の折り鶴と同様に折っていく。
 ※ 波線から先は図を省略します



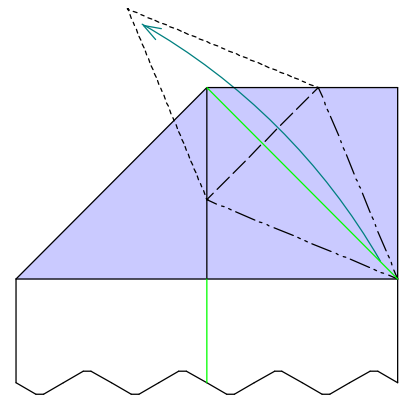
[2]



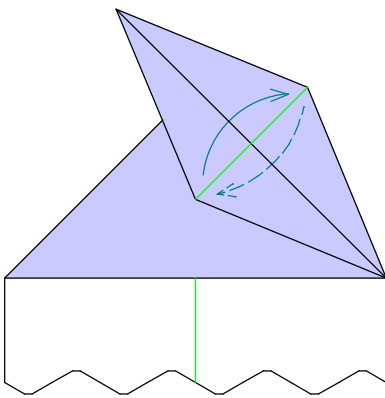
[3]



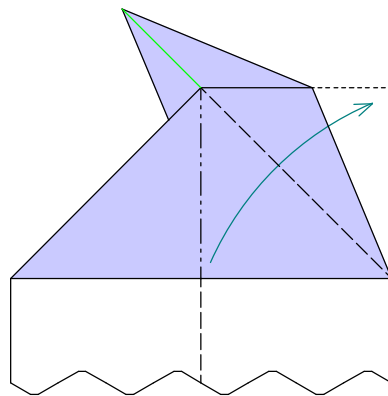
[4] 折り目をつける。



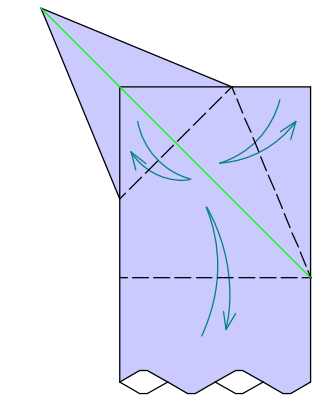
[5]



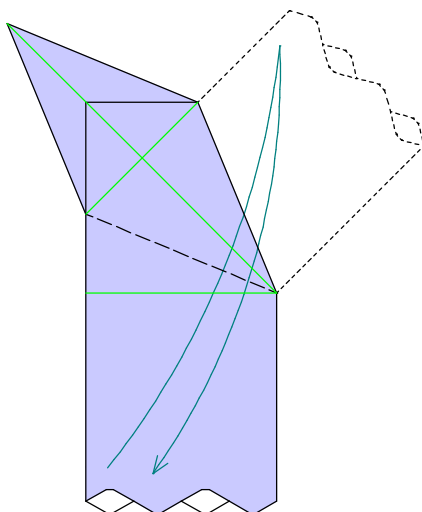
[6]



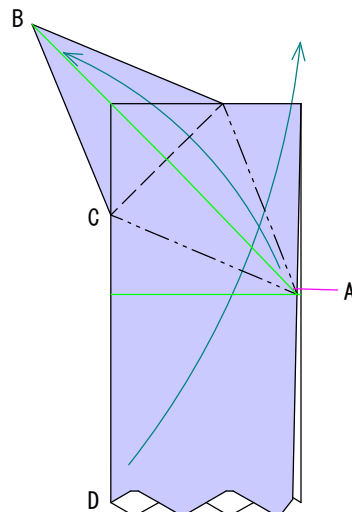
[7]



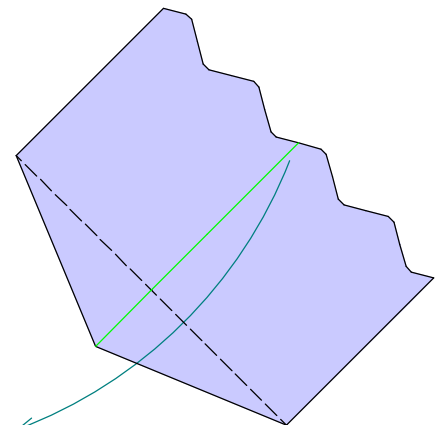
[8] 折り目をつける。



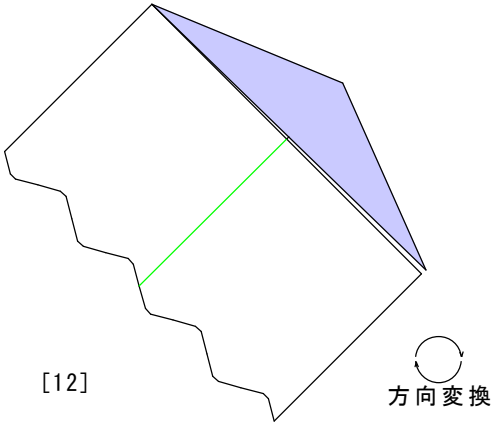
[9] 折り目をつける。



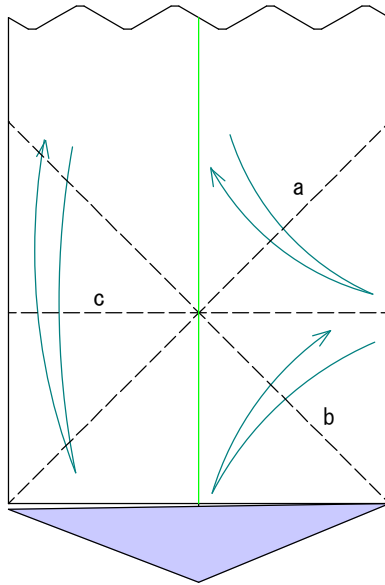
[10] AをBに合わせるとともに
 CD間の折り目を開く。



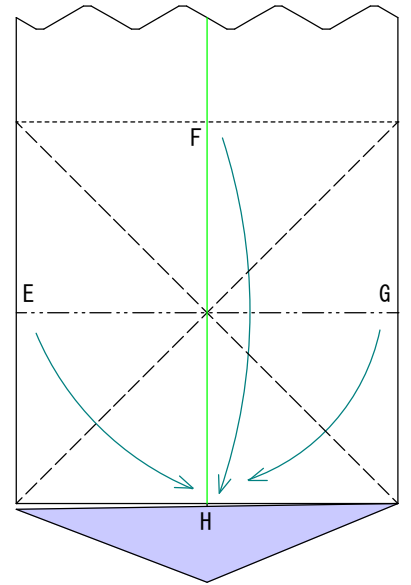
[11]



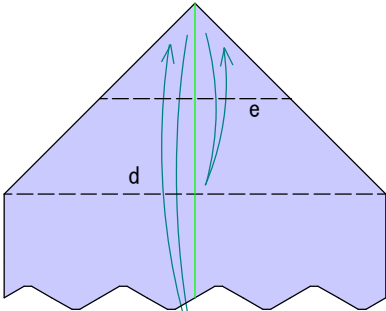
[12]



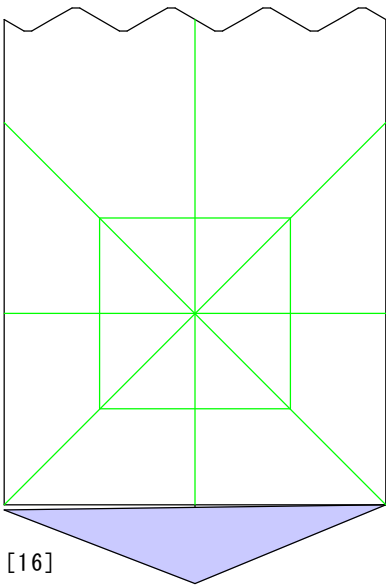
[13] a、b、cの順に折り目をつける。



[14] E、F、GをHに合わせる。
(伝承折り紙の「紙風船」と同様な折り方)

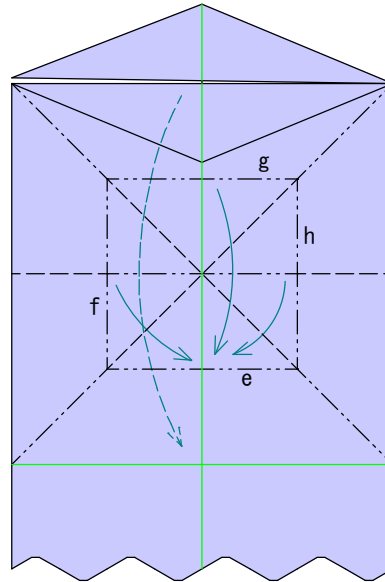


[15] d、eの順に折り目をつける。
とくにeをしっかり折る。
その後[14][15]の折り目を開く。

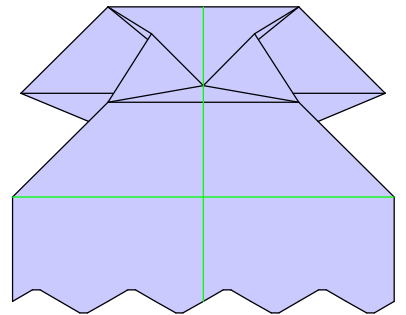


[16]

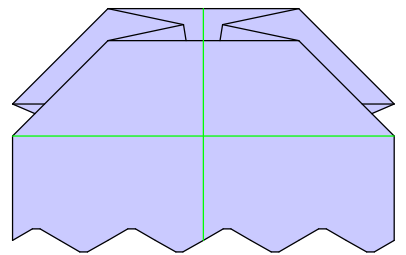
裏返し



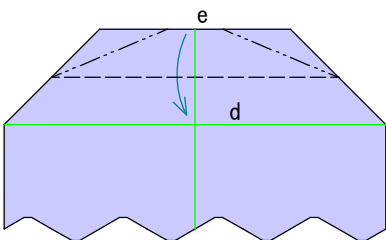
[17] 図の谷折り・山折りに注意して、途中の図を参考にしながら[15]でつけた折り目(e~h)の内側を凹ませる。



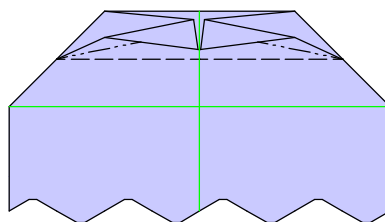
途中の図(1)



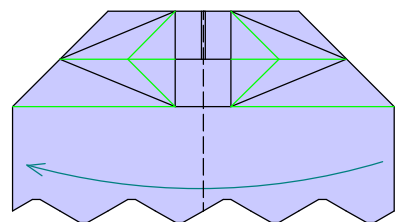
途中の図(2)



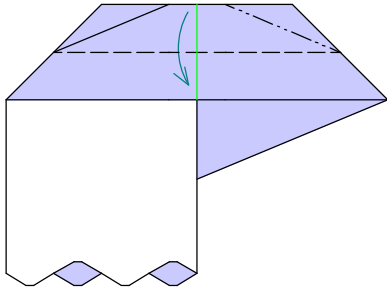
[18] 辺e(一番手前の輪)を折り目dに重ねる。



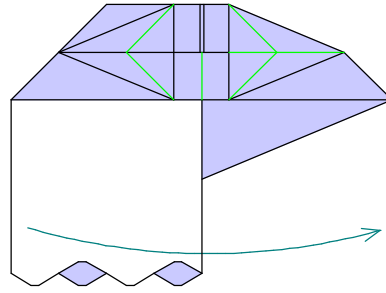
途中の図。左右を三角につぶす。



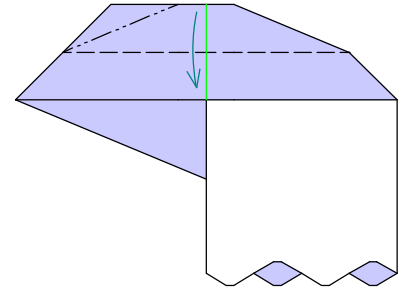
[19] 手前一枚だけを左にめくる。



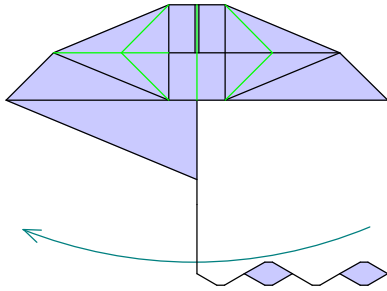
[20] [18]と同様に折る。



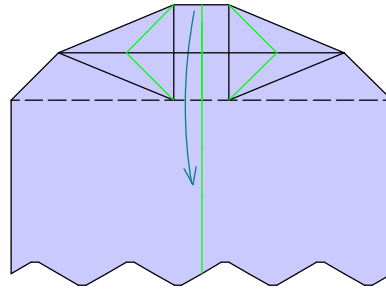
[21] 2枚とも右にめくる。



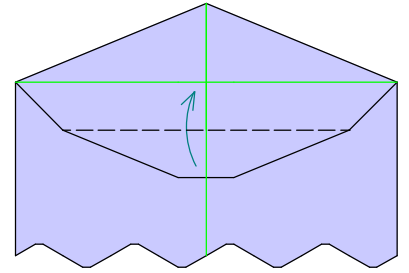
[22] [18]や[20]と同様に折る。



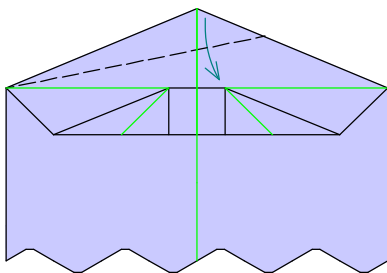
[23] 手前の一枚だけを左にめくる。



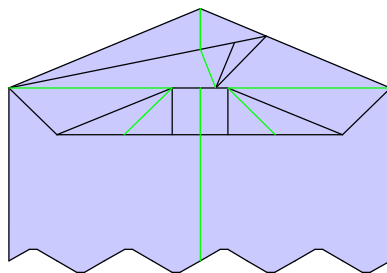
[24]



[25]

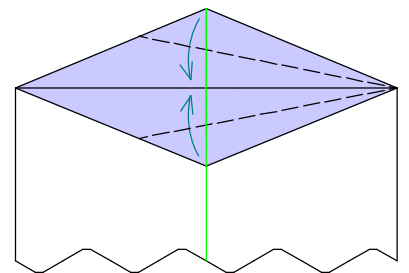


[26]

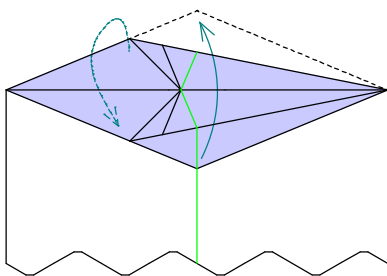


[27]

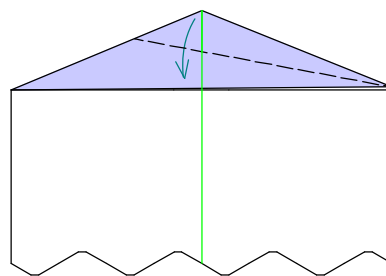
裏返し



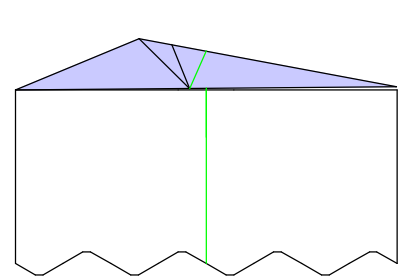
[28]



[29]

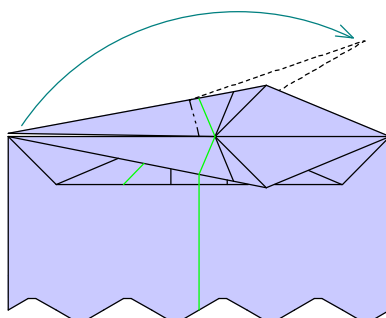


[30]

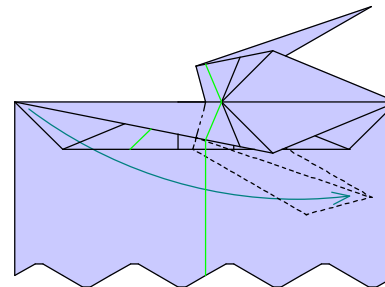


[31]

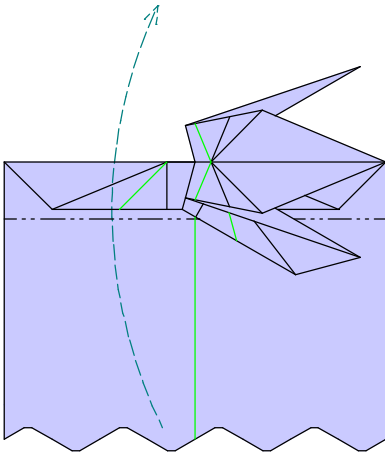
裏返し



[32] 普通の折り鶴と同様に、「中割り折り」で首を作る。

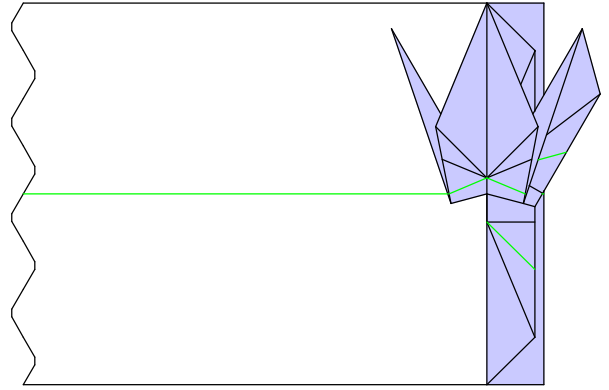


[33] 尾を作る。普通の折り鶴とは違って分厚くて余計な紙片がついてくるが、構わず普通に折って下さい。

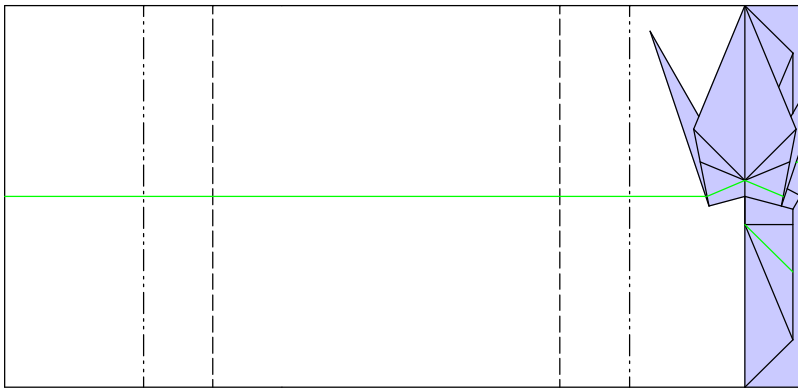


[34]

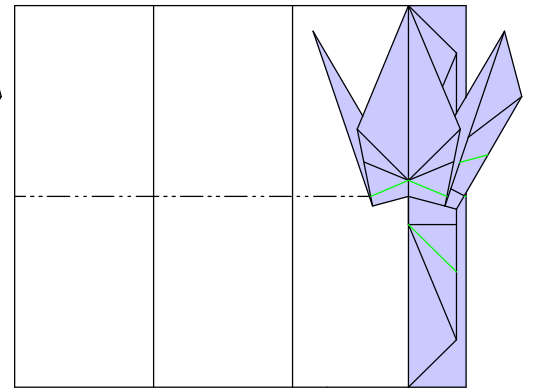
方向変換



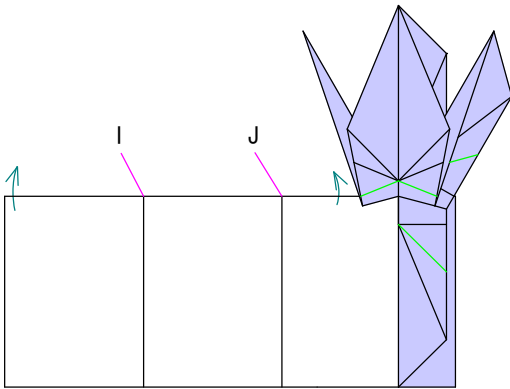
[35] 「鶴」だけの箸置きにする場合は[36]に進む。
「亀」も作る場合（別紙で作る場合も含む）は、[42]に進む。



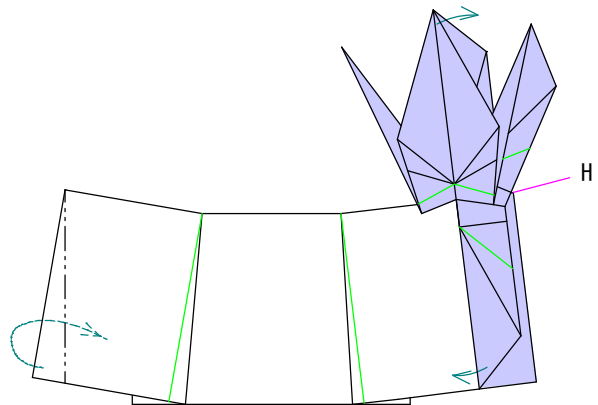
[36] 箸置き本体を作っていく。決まった作り方は無く、
用紙の大きさや好みに応じて作っていく。以下は一例です。



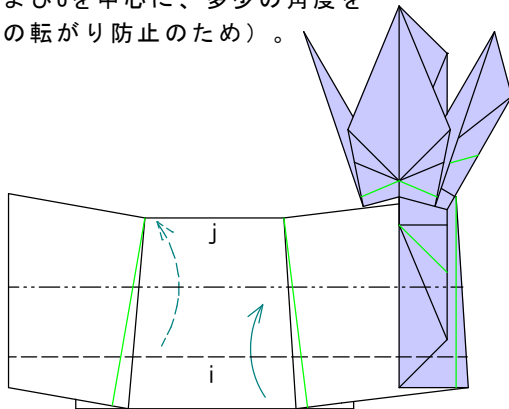
[37]



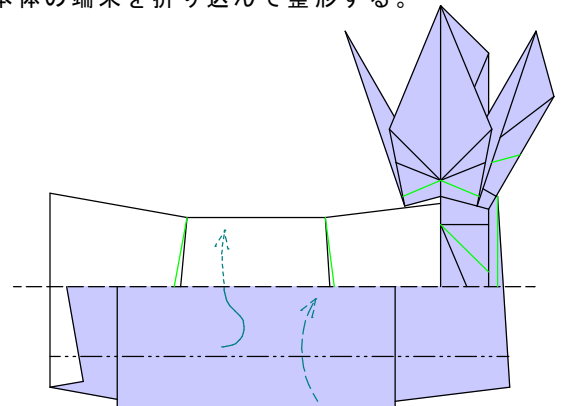
[38] 点IおよびJを中心に、多少の角度をつける（箸の転がり防止のため）。



[39] 点Hを中心に、[38]で傾いた鶴を水平に戻す
また、本体の端末を折り込んで整形する。

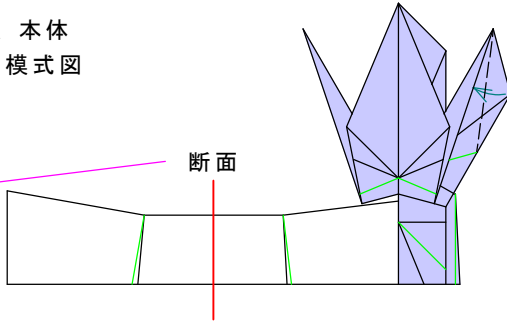
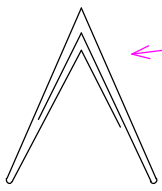


[40] 本体の高さを決めて、余分を内側に折り込む。iの線は、
中でjの折り目に重なるように折る。こうすることで、箸を
置いたときにつぶれにくくなる。

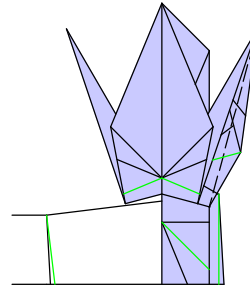


[41] 反対側も同様に折る。この際、[40]で
折り込んだ紙辺に重なるようにする。

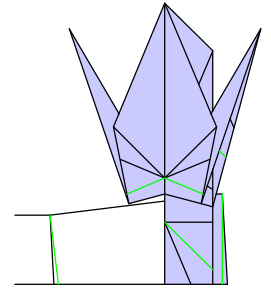
※ [40][41]の結果、本体中央部の断面は下の模式図のようになる。



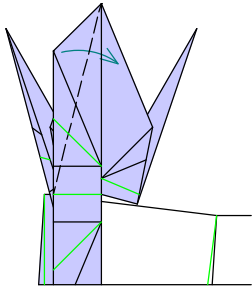
[42] 余計な紙片を折りたたんで尾を細くしていく（普通の折り鶴よりは若干太くなる）。



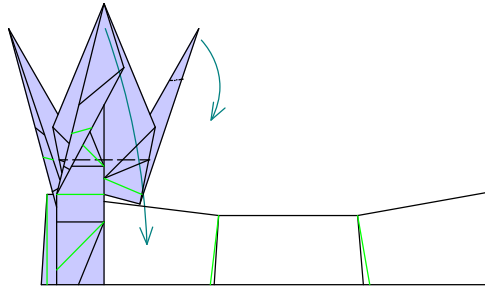
[43]



[44]

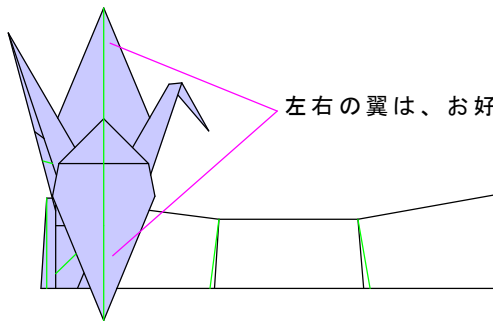


[45] 翼の下の余分な紙片を畳む。

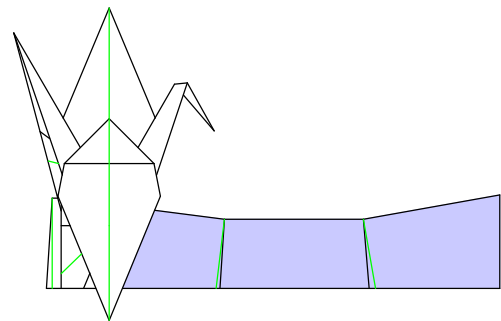


[46] 頭の部分と、翼を折り下げて完成。

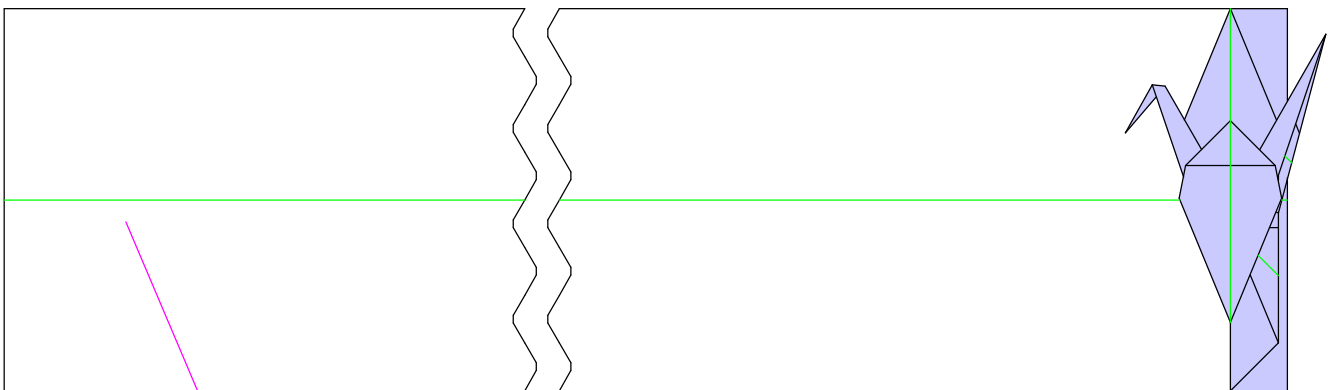
鶴の箸置き



左右の翼は、お好みの角度で

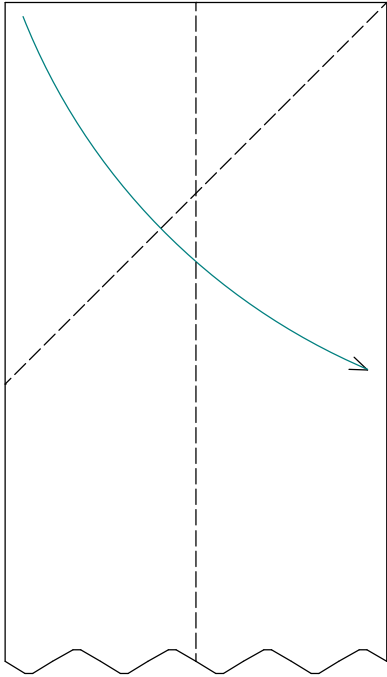


用紙の表裏を逆にすると色違いが出来る。

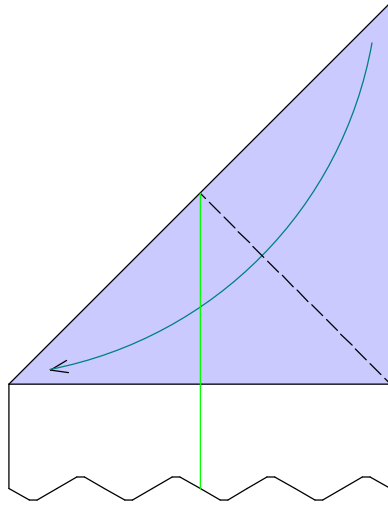


「鶴と亀」にする場合、用紙のもう一つの端に亀を作るか、別紙で作って組み合わせる。

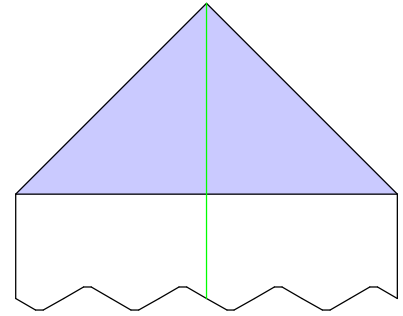
2. 亀の箸置き



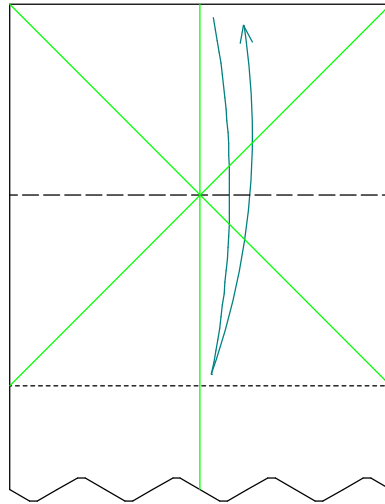
[47]



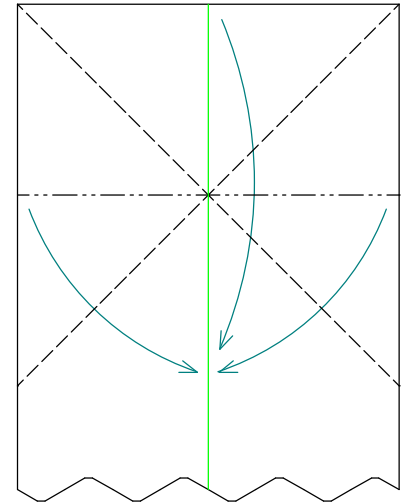
[48]



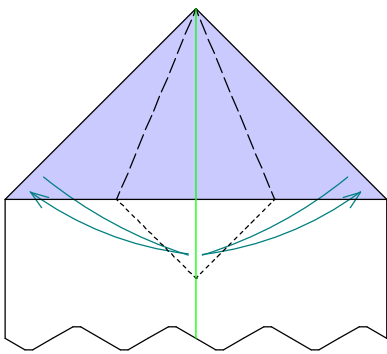
[49] 一旦、折り目を全て開く。



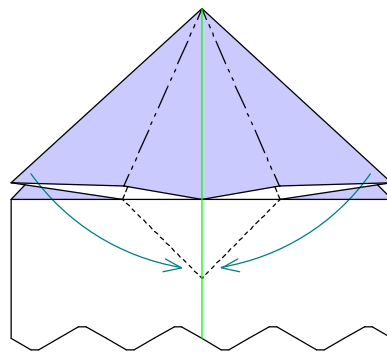
[50] 折り目をつける。



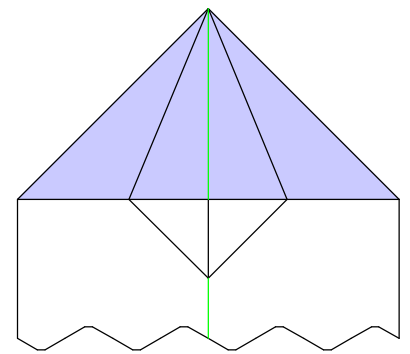
[51] [14]と同様に折る。



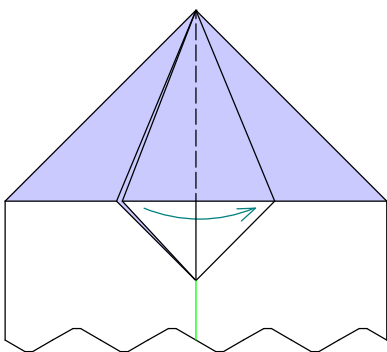
[52] 折り目をつける



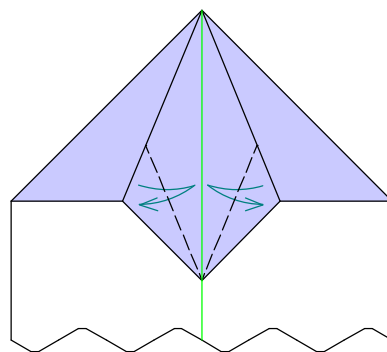
[53] 中割り折り



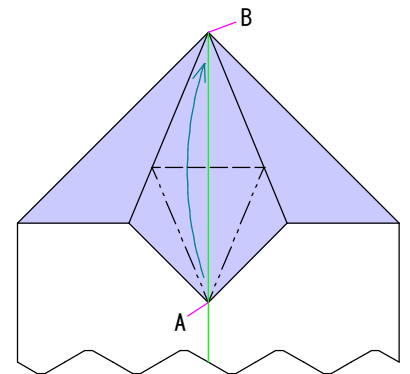
[54] [53]の結果の図



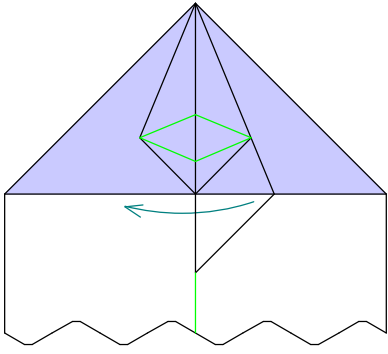
[55] 手前の一枚を右にめくる。



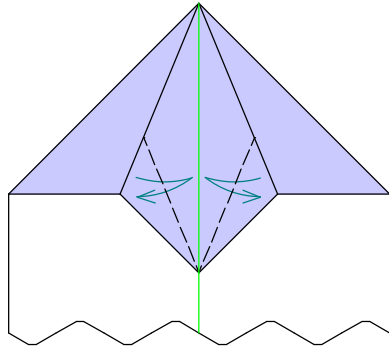
[56] 折り目をつける。



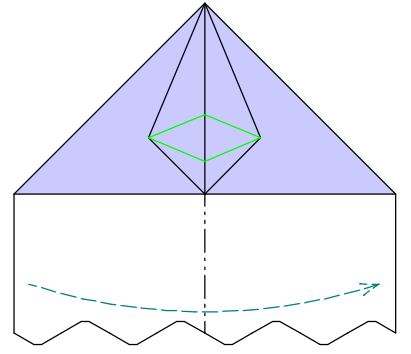
[57] AをBに合わせるように折る。



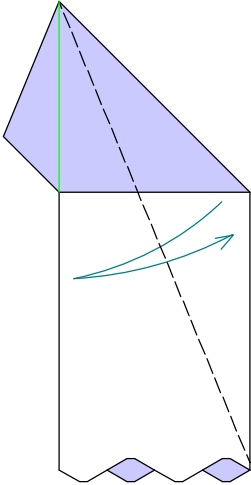
[58] 手前の一枚を左にめくる。



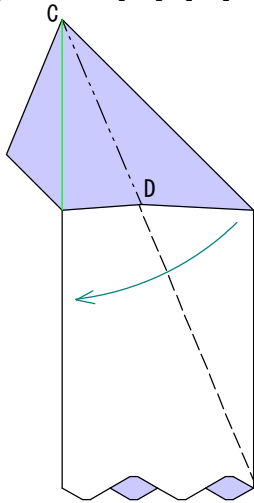
[59] [56]~[57]と同様に折る。



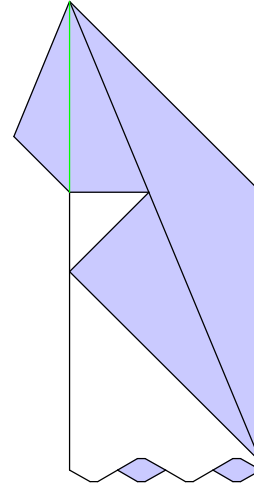
[60]



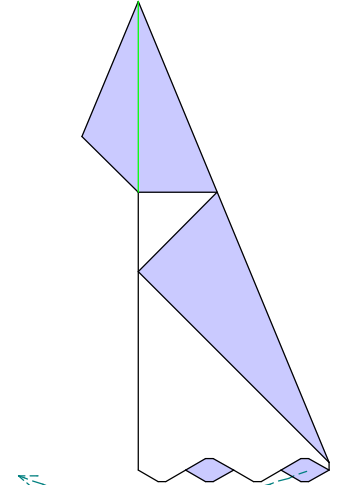
[61]



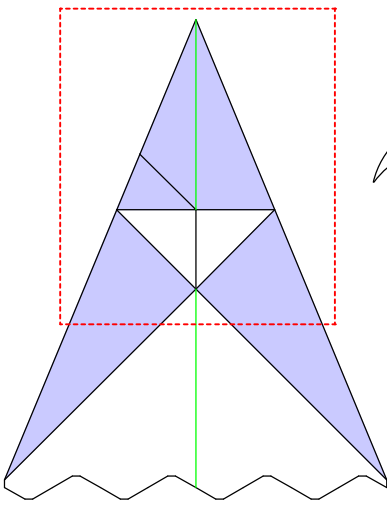
[62] CD間は山折り。



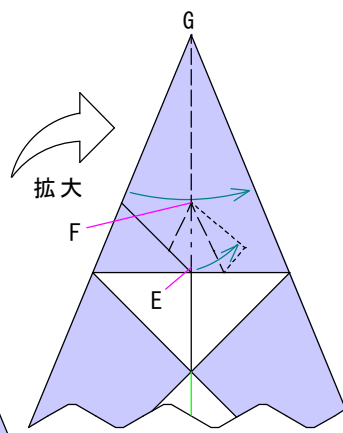
[63] 反対側も同様に折る。



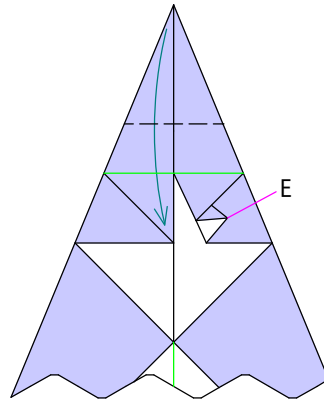
[64]



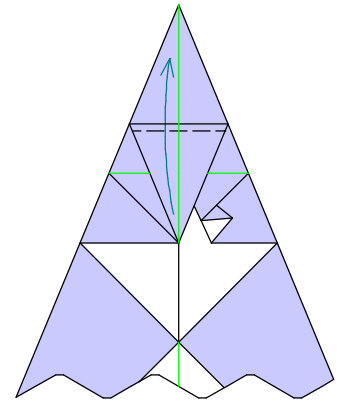
[65] この先、図を拡大します。



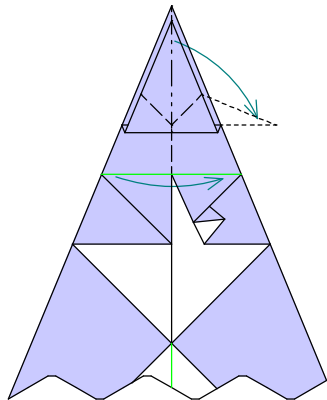
[66] 後脚を作る。Eを引き出しつつFGを谷折り。
(一番手前の紙片のみ)



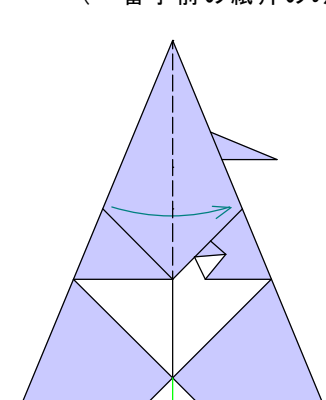
[67] 次に前脚を作る。
やや長すぎるので...



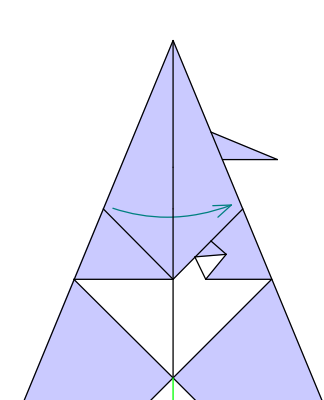
[68] 少し短くする。



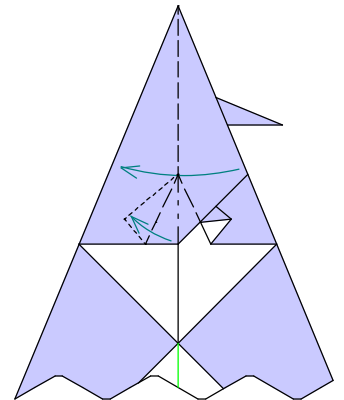
[69] [66]と同様に、前脚を引き出す(概ね真横に)。



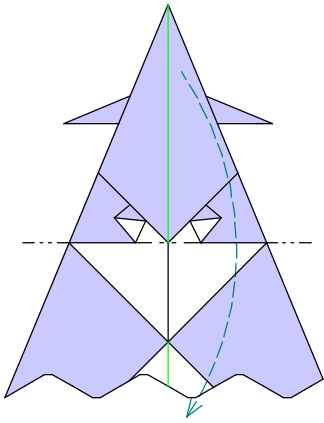
[70] 手前の紙片を右に



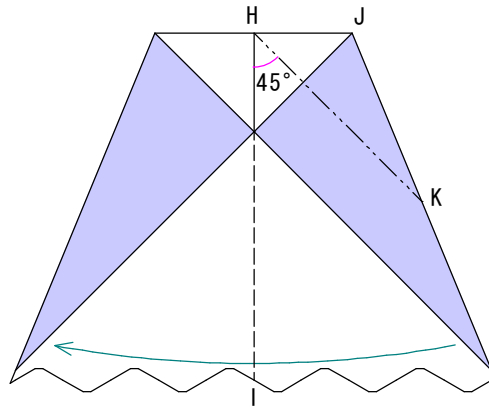
[71] もう一枚めくる。



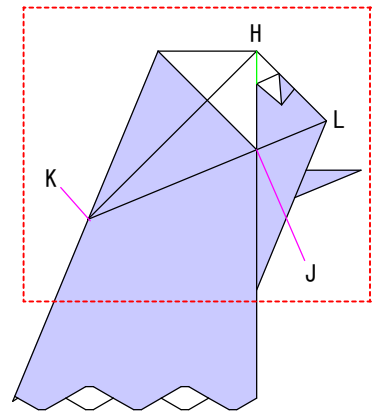
[72] 反対側の脚を[66]~[69]と同様に作る。



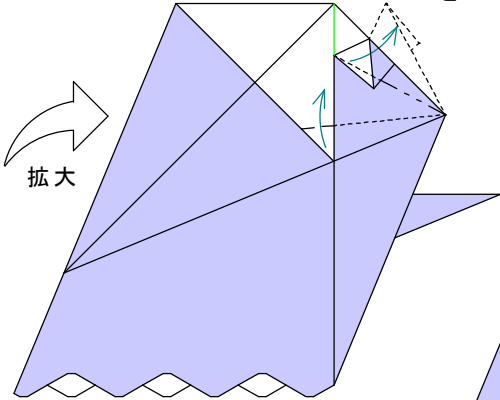
[73] 亀の部分に向こうに折る。



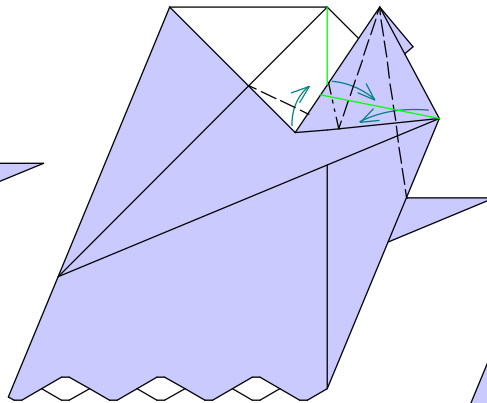
[74] HI間を谷折り。HJをHIに重ねて、HKとHL（Lは次図参照）を折る。



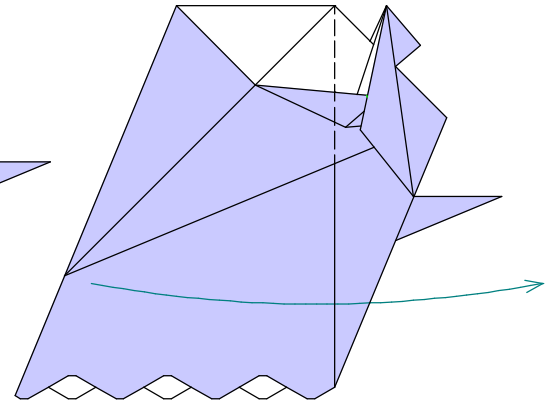
[75] [74]の結果の図。この先、図を拡大します。



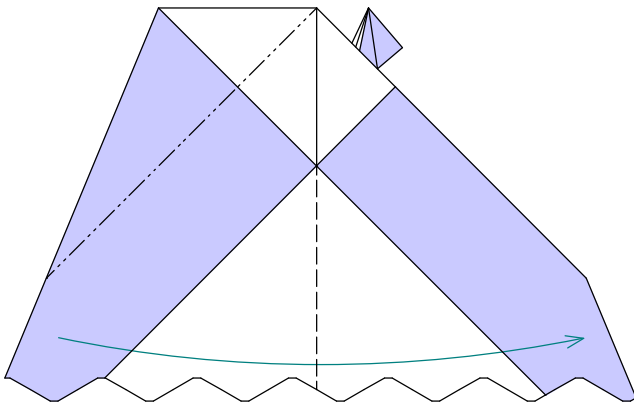
[76] 後脚が引っ込んでしまったので、再度引き出す。



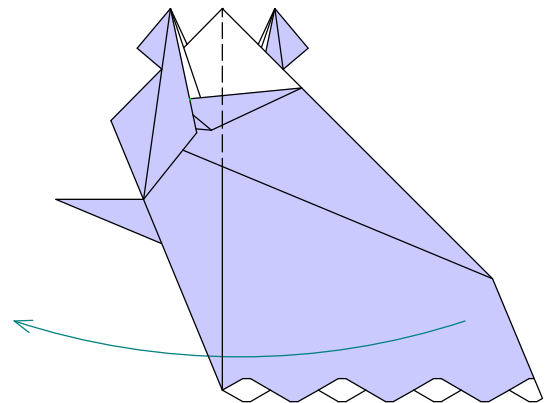
[77] 余計な部分を削るように折る。



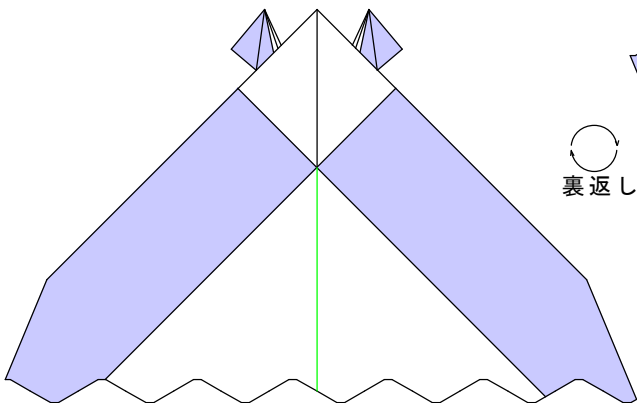
[78] 手前の紙片を右に開く。



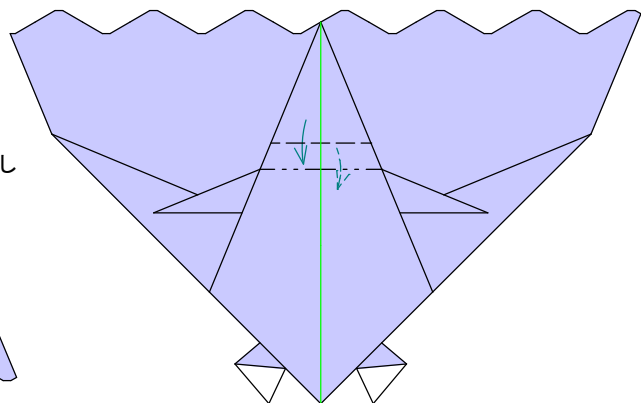
[79] 反対側も[74]~[77]と同様に折る。



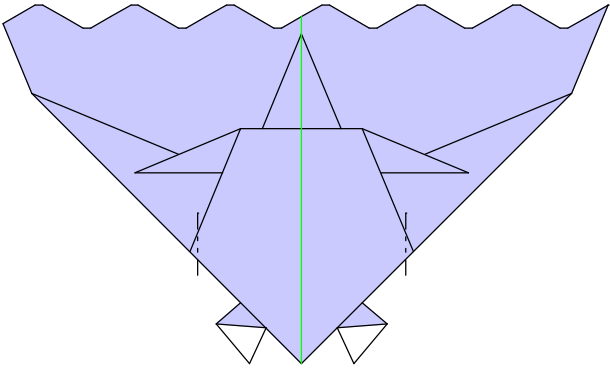
[80] 手前の紙片を左に開く。



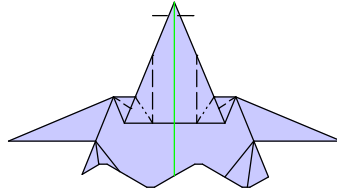
[81] [80]の結果の図



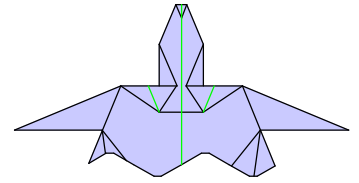
[82] 亀の頭の部分を作っていく。



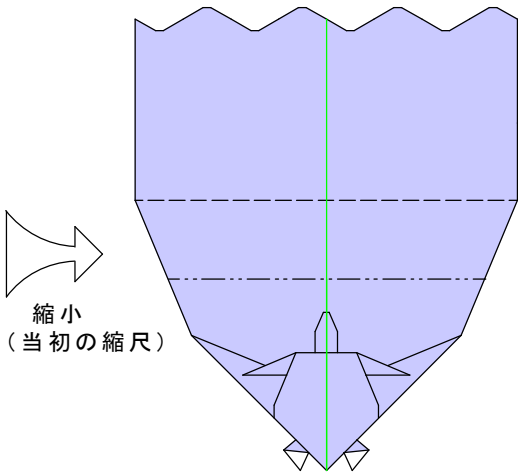
[83] 甲羅の両サイドを丸める。



[84] 首を細くする。
(裏側から見た、部分図)

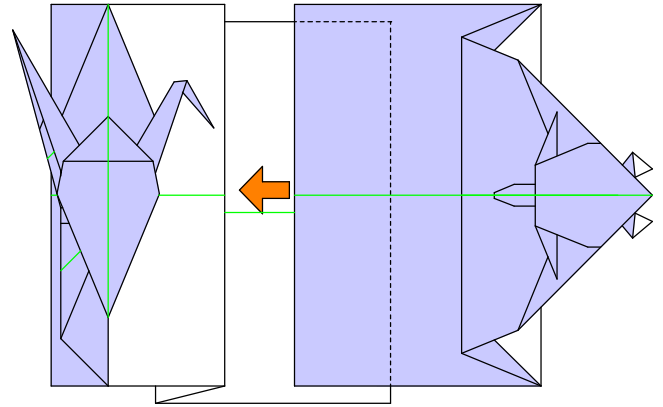


[85] [84]の結果の図



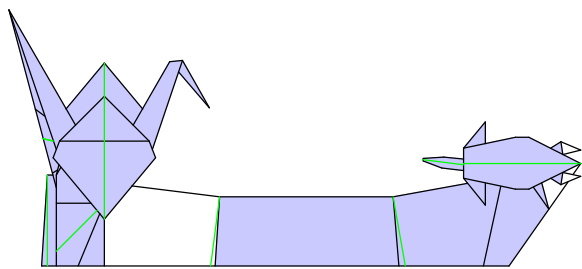
[86] 亀だけの箸置きにする場合、箸置き本体の制作に移行する。要領は[36]~[41]に同じ。

方向変換

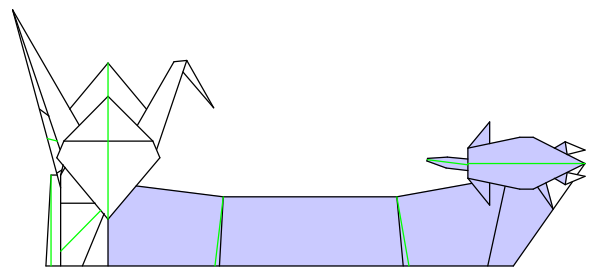


[87] 鶴と亀の箸置きにする場合で、それぞれを別紙で作った場合は、両者を重ねた状態で本体を折って行く。箸置き本体の長さや形は好みで。

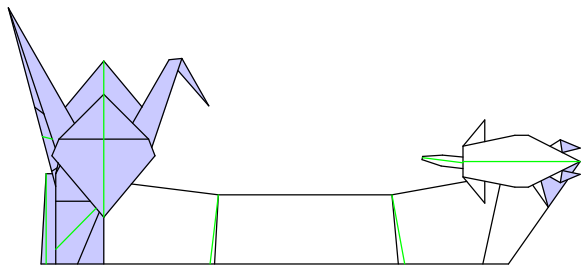
鶴と亀の箸置き



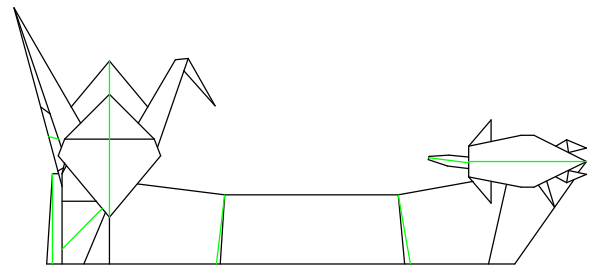
別紙で作り、本体部分でつなげたもの (一例)



裏表で色が異なる一枚の紙で作ったもの



裏表で色が異なる一枚の紙で作ったもの



両面とも白の無地の紙で作ったもの